

5. 事業計画の変更内容等

5.1 変更の概要及びその理由

変更の概要及びその理由は、対象事業における施工工程の進捗を踏まえて、表5.1-1のとおり変更する。

なお、今回の変更は、施工計画の変更のみであり、施工方法等の内容に変更はない。

表5.1-1 変更の概要及びその理由

項目		変更の概要及びその理由
施工計画	対象事業	<p>事業の実施に伴い、一時的に撤去や移設を行った施設の復旧について、関係者との調整により港湾利用への影響を最小限とする段階的な復旧を行うことから、陸上工事の舗装工について施工工程に見直しが生じた。</p> <p>また、海上工事の舗装工については狭隘なトンネル内で、施設整備との輻輳作業となったことから、安全確保のため施工工程について見直しを行った。</p> <p>以上のことから、舗装工及び施設整備の施工計画を令和2年度まで延長するものである。</p> <p>なお、延長する期間に行う工事は、トンネルの通行に影響しない工事内容であることから、供用開始に変更はない。</p>

5.2 変更内容

対象事業の工事期間を変更する。変更後、変更前の施工計画は、表5.2-1及び表5.2-2のとおり変更する。

表5.2-1 工事期間の変更

項目	【変更後】	【変更前】
舗装工（陸上工事）の工事期間	平成28年度から <u>令和2年度</u> (平成32年度)	平成28年度から <u>令和元年度</u> (平成31年度)
舗装工（海上工事）の工事期間	平成28年度から <u>令和2年度</u> (平成32年度)	平成28年度から <u>令和元年度</u> (平成31年度)
設備整備期間	平成28年度から <u>令和2年度</u> (平成32年度)	平成28年度から <u>令和元年度</u> (平成31年度)

注：1. 表中の下線は、変更箇所を示す。

2. 令和元年度以降の元号は、旧元号と併記した。

表5.2-2 施工計画の変更

【変更後】

工事内容		年度									
		平成28	平成29	平成30	令和元	令和2					
陸上工事	掘割構造 (平坦部、嵩上げ部含む)	準備工、土留工、掘削工、 躯体構築工、埋戻工	■	■	■	■					
		舗装工					■	■	■		
	スリット構造	準備工、土留工、掘削工、 躯体構築工、埋戻工	■	■	■	■					
		舗装工					■	■	■		
	トンネル構造(開削トンネル構造)	準備工、土留工、掘削工、 躯体構築工、埋戻工	■	■	■	■					
		舗装工					■	■	■		
トンネル構造(接続部構造)	準備工、躯体構築工、 掘削沈下工、中埋め・内部構築工	■	■	■	■						
	舗装工						■	■	■		
海上工事	トンネル構造(沈埋トンネル構造)	沈埋函製作	■	■	■	■	■	■	■	■	
		準備工、浚渫工、埋戻工		■	■	■	■	■	■	■	■
		基礎工、沈設工、函底充填工			■	■	■	■			
		舗装工							■	■	
全区間共通		施設整備				■	■	■			

【変更前】

工事内容		年度							
		平成28	平成29	平成30	平成31	平成32			
陸上工事	掘割構造 (平坦部、嵩上げ部含む)	準備工、土留工、掘削工、 躯体構築工、埋戻工	■	■	■	■			
		舗装工					■	■	■
	スリット構造	準備工、土留工、掘削工、 躯体構築工、埋戻工	■	■	■	■			
		舗装工					■	■	■
	トンネル構造(開削トンネル構造)	準備工、土留工、掘削工、 躯体構築工、埋戻工	■	■	■	■			
		舗装工					■	■	■
トンネル構造(接続部構造)	準備工、躯体構築工、 掘削沈下工、中埋め・内部構築工	■	■	■	■				
	舗装工						■	■	
海上工事	トンネル構造(沈埋トンネル構造)	沈埋函製作	■	■	■	■	■	■	■
		準備工、浚渫工、埋戻工		■	■	■	■	■	■
		基礎工、沈設工、函底充填工			■	■	■	■	
		舗装工							■
全区間共通		施設整備				■	■	■	